

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価現地調査評価コメント

研究課題名	光誘起構造相転移動力学の研究	研究代表者名 (所属・職)	谷村 克己 (大阪大学・教授)
-------	----------------	------------------	--------------------

評価コメント
<p>本研究課題は、光誘起相転移の動力学をフェムト秒領域で実時間観測することを目的としている。研究組織の構成は、時間分解電子線回折法による相転移動力学を観測するグループ、走査型プローブ顕微鏡を用いた光誘起相の原子レベルでの構造解析を行うグループ、さらに、光誘起構造相転移動力学の理論的研究を行うグループからなっている。電子線回折を実時間で行う透過型電子線回折装置は、現在建設中である。この装置は、高エネルギー物理学の研究者との共同作業によりコンパクトな空洞共振器を用いた電子線加速と写真乾板イメージング解析を組み合わせたものであり、本研究課題における特色あるユニークな機器となっている。</p> <p>研究代表者の戦略的な指導のもと、機器の導入と設計製作および研究の着手は順調に遂行されており計画変更の必要性は認めなかった。理論担当の研究分担者の所属に移動があったが、研究推進上影響がないものと判断される。また、人的・物的資産も有効に活用されており、必要な技術を持った研究者をリクルートするなど人材配置にも配慮がなされている。</p> <p>以上を踏まえ、現状のまま研究を推進すべきであると判断する。</p>